

特集 学ぶ・育む「X」プログラム

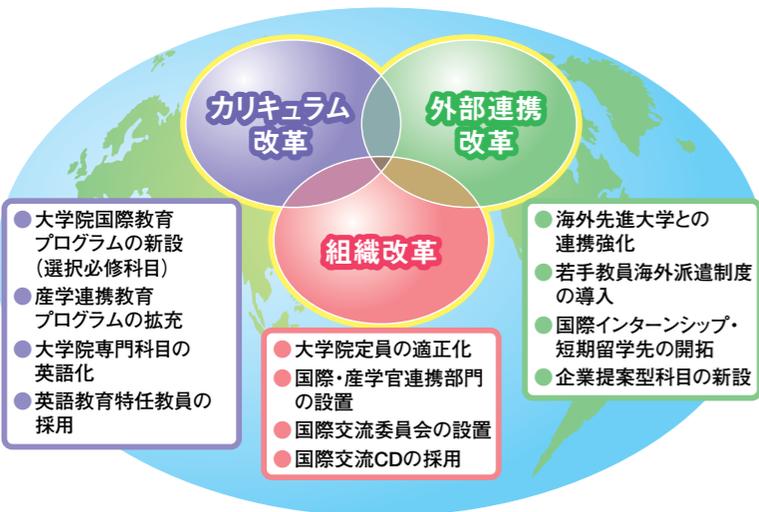
「文部科学省 平成23～25年度 特別経費(プロジェクト分) 高度な専門職業人の養成や専門教育機能の充実」

世界に通用する高度専門産業人材養成のための大学院教育改革 —コースワーク教育の国際化と新展開—

産業界、学生、社会からのニーズに応じて、国際感覚を有する産業人材養成は急務となっています。本事業では、国際化カリキュラムの開発、学生の国際会議発表、海外留学、国際インターンシップ等による海外現場体験機会の増加、海外大学との学術協定の拡大を通じた学内の国際化と世界に通用する国際性豊かな人材育成を目指しています。



世界で通用する人材養成の取組



工学部・工学研究科 国際化教育 カリキュラム

	学部1・2年生	学部3年生	学部4年生	修士1年生	修士2年生
カリキュラム改革	共通教育英語科目 ●英語 I 大学基礎 ●英語 I 英会話 ●英語 I TOEIC ●英語 III (上級) ●英語 IV (上級) ●未修外国語 I ●未修外国語 II	選択専門英語 ●理系英語科目 ●海外連携大学間 Skype-Lecture	必修専門英語 ●英語会話科目 特任教員による英語教育	選択必修国際化教育科目 ●英語演習 I ●英語演習 II ●英語演習 III ●英語演習 IV ●海外連携大学間 Skype-Lecture ●国際会議発表 ●国際インターンシップ ●海外留学	

海外先進大学等との国際交流の充実

- パリ工芸大学 (仏国)
- サボア大学 (仏国)
- ル・マン高等学院 (仏国)
- バレンシア州立工芸大学 (スペイン)
- カーディフ大学 (英国)
- カリフォルニア大学・アーバイン校 (米国)

国際インターンシップ・留学

国際化教育の効果

- 学部・大学院の6年一貫国際化カリキュラムの実現
- 少人数教育による学生の英語能力向上
- ポリコムを用いた海外とのテレビ会議の拡大
- 学生の英語による研究発表の定常化

国際交流委員会の設置

国際・産学官連携部門の設置

外部連携改革

- 海外先進大学との連携強化
- 若手教員海外派遣制度の導入
- 国際インターンシップ・短期留学先の開拓
- 企業提案型科目の新設

国際交流委員会の設置

国際交流CDの採用

国際化が着実に進んでるね

取組実績 (平成24年12月末現在)

年度	H20	H21	H22	H23	H24
協定大学(大学)	6	8	10	12	14
海外派遣(名)	5	9	11	18	32
英語履修(名)	145	125	120	117	370
国際会議(件)	70	48	64	236	300以上

※国際会議のH24については見込み



世界に通用するグローバル人材の育成

英語が身につけば世界中の人々と渡り合えるね

科学技術をはじめとした工学分野の学問は世界共通です。そのなかでしっかりと自らの研究を表現するためにはグローバルな言語、英語を身につけることが必須です。本取組のなかで国際シンポジウム、国際会議で発表を行うことにより、学生に英語で話す機会を増やし、また、教育・研究の質を向上することを狙っています。

伊藤 智徳
三重大学大学院工学研究科長・工学部長・教授